

## (1) 平成30年度実績報告について

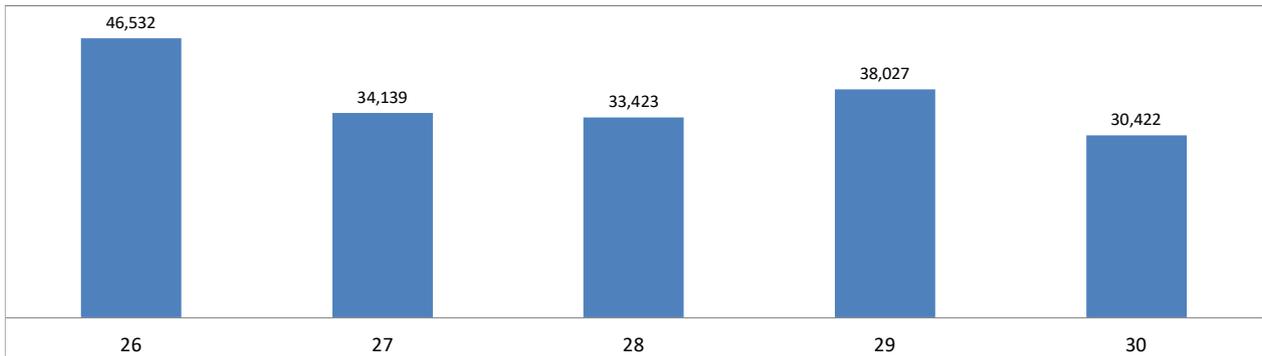
## I 地域包括支援センター相談状況について

## 1. 平成30年度 地域包括支援センター相談統計(平成30年4月～平成31年3月)

件数										合計
		菊かおる園	東部	中央	ふくろうの杜	豊島区医師会	いけよんの郷	アトリエ村	西部	
65歳以上人口	高齢者人口(高齢化率)	7,615 (21.3%)	8,041 (20.6%)	7,500 (17.9%)	6,386 (18.5%)	5,893 (17.4%)	5,655 (18.6%)	8,066 (22.2%)	8,354 (22.0%)	57,510 (19.9%)
	高齢者人口全体に対する割合	13.2%	14.0%	13.0%	11.1%	10.2%	9.8%	14.0%	14.5%	100.0%
相談方法	来所	1,456	1,770	1,011	1,199	927	1,040	1,430	1,959	10,792
	電話	1,330	1,678	1,967	1,250	3,048	768	1,892	1,858	13,791
	訪問	692	1,003	521	572	775	375	533	636	5,107
	メール・郵送・FAX	21	13	44	3	309	13	13	30	446
	その他(休日夜間相談含む)	27	25	28	9	84	9	58	46	286
	計	3,526	4,489	3,571	3,033	5,143	2,205	3,926	4,529	30,422
主たる相談者	本人	1,030	1,316	896	948	1,335	538	1,041	1,079	8,183
	家族等	1,124	1,259	983	958	1,212	526	991	1,384	8,437
	地域住民	50	60	64	28	59	55	42	76	434
	ケアマネジャー	798	1,281	626	672	959	727	1,041	1,010	7,114
	関係機関	514	548	991	419	1,571	346	765	960	6,114
	その他	10	25	11	8	7	13	46	20	140
	計	3,526	4,489	3,571	3,033	5,143	2,205	3,926	4,529	30,422

※高齢者人口は平成31年1月1日現在

## 2. 地域包括支援センターの相談件数の推移(平成26年度～平成30年度)



地域包括支援センターの相談件数を平成26年度から示した。

平成26年7月から集計内容及び方法を徹底したことにより、相談件数が大幅に減少している。

## 3. 相談内容延べ件数の推移

年度	26	27	28	29	30
介護保険	24,029	18,416	17,175	20,598	15,898
介護予防プラン及び新 予防給付プラン関連	8,689	4,125	7,178	6,489	4,598
介護予防事業関連	1,600	968	558	479	325
一般施策(※1)	5,387	4,548	4,089	5,394	4,140
医療・看護・保健	11,937	11,164	11,644	12,928	10,897
権利擁護	3,040	1,653	1,947	2,498	1,544
虐待	1,016	909	931	841	761
生活・経済について(※2)	8,019	8,042	8,046	8,577	7,680
障害者制度について	703	311	235	207	270
介護保険と一般施策以外の サービスに関する相談(在宅 サービス)	3,332	2,030	2,473	3,619	3,347
その他(※3)	3,939	4,020	4,019	5,611	5,120
認知症(※4)	3,591	4,065	3,951	4,584	3,927
計	75,282	60,251	62,246	71,825	58,507

※1 紙おむつ支給, おむつ購入費助成, 福祉電話の貸出し, 緊急通報システム, 火災安全システム, 寝具乾燥, 出張理美容, 生活支援型ホームヘルプサービス, 徘徊探知機, 自立支援住宅改修, 車椅子短期貸出の相談・申請・苦情

※2 生活保護, アパート立ち退き, ごみ, 相隣関係, 住まい(介護保険外の施設, 養護老人ホーム, 安心住まい等)

※3 苦情, 関係機関からの情報提供(実態調査票の受け渡しなど)

※4 平成26年7月より集計開始

4.平成30年度 アウトリーチ事業相談統計(平成30年4月～平成31年3月)

件数										合計
		菊かおる園	東部	中央	ふくろうの杜	豊島区医師会	いけよんの郷	アトリエ村	西部	
高齢者人口 (65歳以上)	高齢者人口(高齢化率)	7,615	8,041	7,500	6,386	5,893	5,655	8,066	8,354	57,510
		(21.3%)	(20.6%)	(17.9%)	(18.5%)	(17.4%)	(18.6%)	(22.2%)	(22.0%)	(19.9%)
	高齢者人口全体に対する割合	13.2%	14.0%	13.0%	11.1%	10.2%	9.8%	14.0%	14.5%	100.0%
相談方法	来所	951	1,146	814	52	590	831	1,366	1,337	7,087
	電話	633	570	599	120	982	485	529	602	4,520
	訪問	681	817	658	479	458	603	423	371	4,490
	その他	27	72	19	10	167	41	31	49	416
	計	2,292	2,605	2,090	661	2,197	1,960	2,349	2,359	16,513
主たる相談者	本人	913	1,238	500	517	856	803	709	502	6,038
	家族	339	317	252	39	325	238	406	435	2,351
	近隣・知人	91	28	65	12	29	57	40	74	396
	行政関係者	89	59	89	27	151	110	70	152	747
	関係機関	310	249	241	21	255	234	517	416	2,243
	民生・児童委員	526	694	559	38	536	508	595	763	4,219
	医療機関・介護事業者等	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	見守りボランティア等(NPO等地域団体を含む)	13	3	3	1	5	1	3	0	29
	その他	11	17	381	6	40	9	9	17	490
計	2,292	2,605	2,090	661	2,197	1,960	2,349	2,359	16,513	

※ 高齢者人口は、平成31年1月1日現在

5.平成30年度 地域包括支援センター事業実績(平成30年4月～平成31年3月)

件数										合計	
		菊かおる園	東部	中央	ふくろうの杜	豊島区医師会	いけよんの郷	アトリエ村	西部		
包括的支援事業	訪問による実態把握延べ件数	692	1,003	521	572	775	375	533	636	5,107	
	ケアマネジャー相談実件数※	798	1,281	626	672	959	727	1,041	1,010	7,114	
	個別ケース検討会議開催回数	17	36	14	26	7	24	35	13	172	
	地区懇談会開催回数	4	9	3	4	5	6	21	11	63	
	出張相談等開催回数	0	26	25	10	12	12	0	23	108	
	地域における会議体への出席回数	32	42	26	18	7	41	39	37	242	
	地域活動への参加(会議以外)	0	14	0	8	23	46	6	12	109	
介護予防支援事業	予防給付プラン3月請求件数	163	189	127	108	103	114	164	167	1,135	
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	86	62	47	65	46	43	63	41	453
		委託件数	77	127	80	43	57	71	101	126	682
第1号介護予防支援事業	予防ケアマネジメント3月請求件数	127	133	113	95	96	75	146	150	935	
	包括作成・委託別内訳	包括作成件数	67	65	52	51	51	20	61	49	416
		委託件数	60	68	61	44	45	55	85	101	519

※ケアマネジャー相談件数は、平成28年度より実情に合わせて実件数とした

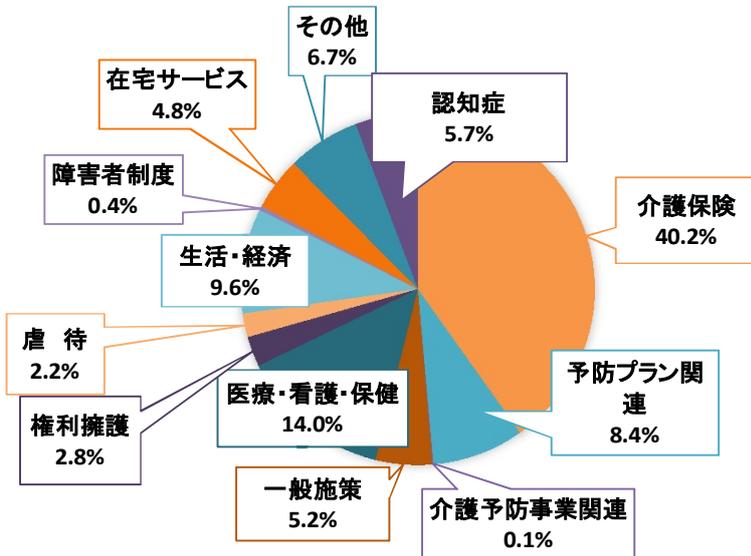
## 6. 包括的・継続的ケアマネジメント支援について(平成30年度)

### (1) ケアマネジャー相談件数

総合相談のうち、主たる相談者がケアマネジャーからの相談件数。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
ケアマネジャー相談件数	552	605	654	615	646	559	626	589	602	594	541	531	7,114

### ケアマネジャー相談内容内訳



相談件数全体が減少している中でケアマネジャーによる相談件数が増加傾向。相談内容の内訳としては、介護保険・医療看護保健・生活経済、が上位を占めている

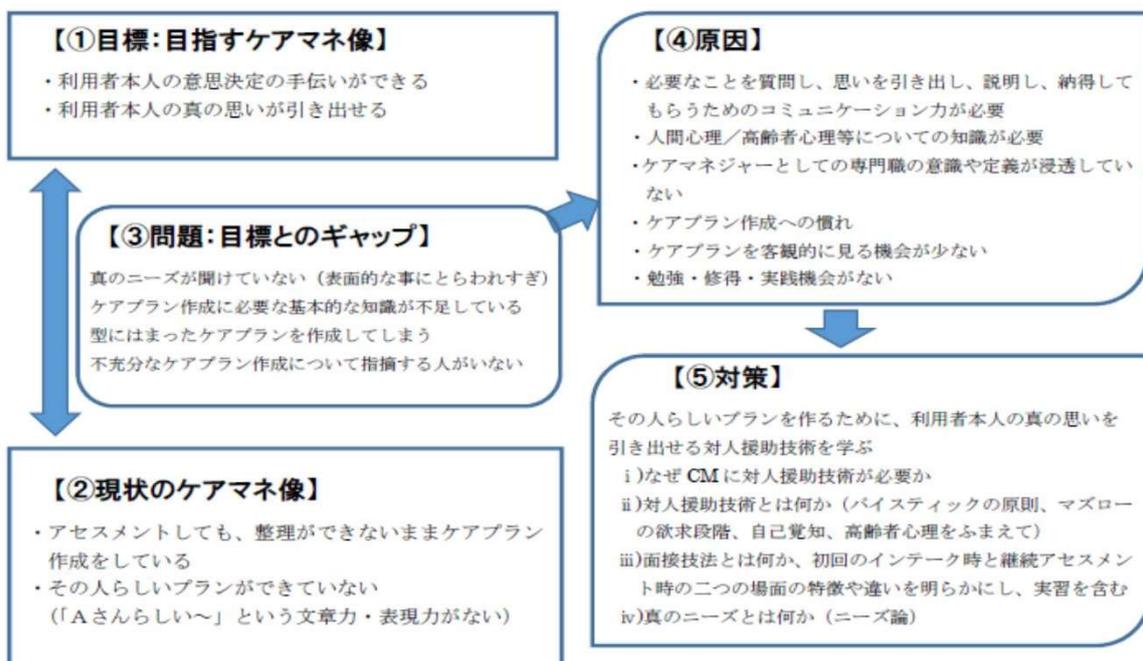
### (2) 研修企画委員会及び主任介護支援専門員育成委員会

平成28年度末より「豊島区介護支援専門員研修企画委員会」と「豊島区主任介護支援専門員育成委員会」を立ち上げた。居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員は研修企画による支援、高齢者総合相談センターは主任介護支援専門員の要件を満たすための研修を実施するなどして主任介護支援専門員の育成環境の整備支援を行っている。

### (3) 平成30年度の研修企画

研修企画委員会にて、ケアマネの課題を整理し、研修テーマを策定した。

#### 研修企画委員会用 整理シート



(4) 平成30年度の研修(高齢者福祉課実施分)

研修企画委員会にて検討した対策案に基づき研修を実施した。

研修名	開催日時	対象	講師	会場	参加人数	研修内容
真のニーズを引き出すケアマネに求められる対人援助技術研修	平成30年 8月31日(金) 14時00分～ 16時30分	豊島区の居宅 介護支援事業 所に所属する ケアマネ ジャー	日本女子大学人間 社会学部社会福祉 学科 渡部律子氏	IKE・BIZ 6階 多目的ホール	49	利用者理解の基礎～援助的關係とは～ ・援助される側(利用者やその家族)の立場を理解する ・援助する者として、ケアマネが理解を深めるべき自らの仕事への関わり方を認識する ・サポートの効果を理解し、よいサポートの提供の仕方を身につける
	平成30年 9月21日(金) 14時00分～ 16時30分			相談援助面接～面接の構造と応答のバリエーションを理解する～ ・面接の構造と面接に必要な言語スキル ・インテーク面接場面を視聴して「何を意図してどのような応答をするのか？」を理解する		
	平成30年 10月5日(金) 14時00分～ 16時30分			アセスメント～情報を統合する～ ・アセスメントとは何か？ ・クライアントとの置かれている状況を理解する		
	平成30年 11月2日(金) 14時00分～ 16時30分			利用者理解から支援計画作成へ～スーパービジョン要素を取り入れた事例検討会～ ・これまでの研修で学んだことを統合し、利用者・家族・彼らを取り巻く環境を統合的に理解するために必要な問いかけや要約の仕方を学ぶ		
受講人数合計					193	

## II 運営事業委託実施報告・実施計画

### 1. 平成 30 年度実績報告

#### (1) 委託事業所 8 事業所

- ① 菊かおる園地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- ② 東部地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- ③ 中央地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会)
- ④ ふくろうの杜地域包括支援センター (社会福祉法人 敬心福祉会)
- ⑤ 豊島区医師会地域包括支援センター (公益社団法人 豊島区医師会)
- ⑥ いけよんの郷地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)
- ⑦ アトリエ村地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- ⑧ 西部地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)

#### (2) 執行状況

平成 30 年 4 月 1 日	運営法人と委託契約締結
平成 30 年 4 月	上半期概算払委託料執行
平成 30 年 10 月	下半期概算払委託料執行
平成 31 年 3 月末	概算払委託料清算

#### (3) 委託料予算額及び執行額

30 年度	金額	内訳	備考
予算	274,716,000 円		
執行額	270,726,961 円	@36,152,000×3 事業所 =108,456,000 円 @35,315,015×1 事業所 =35,315,015 円 @34,652,000×1 事業所 =34,652,000 円 @32,999,946×1 事業所 =32,999,946 円 @31,152,000×1 事業所 =31,152,000 円 @28,152,000×1 事業所 =28,152,000 円	
執行残	3,989,039 円		執行率 98.5%

## 2. 平成 31(令和元)年度実施計画

### (1) 委託事業所 8 事業所

- ① 菊かおる園地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- ② 東部地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- ③ 中央地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区民社会福祉協議会)
- ④ ふくろうの杜地域包括支援センター (社会福祉法人 敬心福祉会)
- ⑤ 豊島区医師会地域包括支援センター (公益社団法人 豊島区医師会)
- ⑥ いけよんの郷地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)
- ⑦ アトリエ村地域包括支援センター (社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団)
- ⑧ 西部地域包括支援センター (社会福祉法人 フロンティア)

### (2) 執行状況及び執行計画

平成 31 年 4 月 1 日	運営法人と委託契約締結
令和元年 5 月	各法人が提出した総価分の支払計画額と各月の履行実績に応じて支払う単価分の合計を毎月執行
令和 2 年 3 月末	

### (3) 委託料予算額

31(元)年度	金額	内訳	備考
予算額	358,847,000 円		
総価分 (従来委託料)	294,716,000 円	@38,652,000×5 事業所 =193,260,000 円 @37,152,000×1 事業所 =37,152,000 円 @33,652,000×1 事業所 =33,652,000 円 @30,652,000×1 事業所 =30,152,000 円	①31(元)年度より運営法人との委託契約は、総価分と履行実績に応じて支払われる単価契約分の合計が支払われる契約に変更した。 ②会計検査院の指摘により事業所のプラン収入 60,531,000 円は、区の歳入になる。
総価分 (プラン収入分 ≒プランナー人件 費相当)	60,531,000 円	8 事業所の総額 (各事業所ごとにプラン収入額が異なる。)	それに伴う事業所の減収額相当をプランナー人件費相当として委託料に増額した。
単価分	3,600,000 円	@450,000×8 事業所	

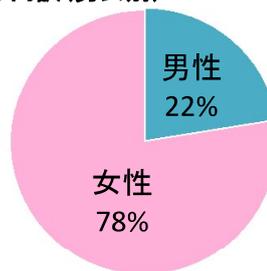
※総価分(従来委託料)と単価分の合計額 298,316,000 円が 31(元)年度の実質の委託料になり昨年度と比べ全体で 23,600,000 円(1 事業所あたりおよそ 3,000,000 円)の増額となる。

### Ⅲ 平成30年度高齢者虐待受理状況(地域包括支援センター等から受理した件数) 平成31年3月末現在

#### 1.被虐待者の内訳(男女別)

	件数	割合
男性	11	22%
女性	38	78%
合計	49	100%

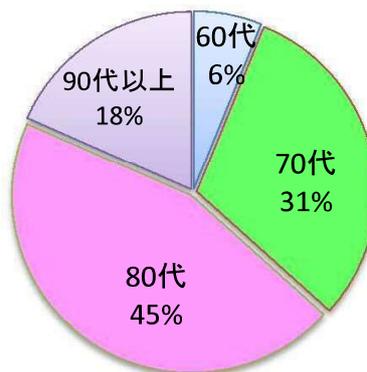
#### 1. 被虐待者の内訳(男女別)



#### 2.被虐待者の内訳(年齢別)

	件数	割合
60代	3	6%
70代	15	31%
80代	22	45%
90代以上	9	18%
合計	49	100%

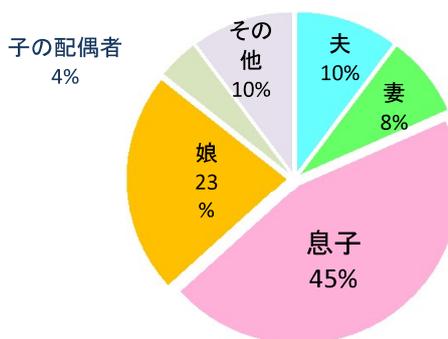
#### 2. 被虐待者の内訳(年齢別)



#### 3.主たる虐待者(件数・重複あり)

	件数	割合
夫	5	10%
妻	4	8%
息子	22	45%
娘	11	22%
子の配偶者	2	4%
その他	5	10%
合計	49	100%

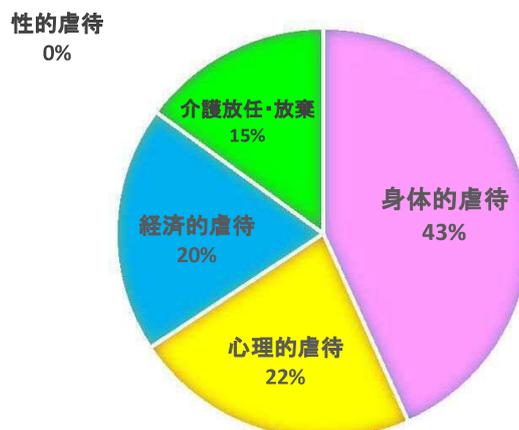
#### 3. 主たる虐待者(件数・重複あり)



#### 4.虐待の種類(件数・重複あり)

	件数	割合
身体的虐待	29	43%
心理的虐待	15	22%
経済的虐待	13	19%
介護放任・放棄	10	15%
性的虐待	0	0%
合計	67	100%

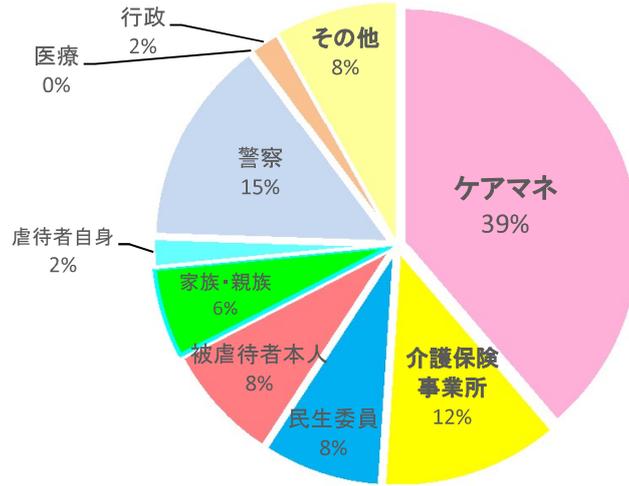
#### 4. 虐待の種類(件数・重複あり)



5. 通報・届出者(件数・重複あり)

	件数	割合
ケアマネ	19	39%
介護保険事業所	6	12%
民生委員	4	8%
被虐待者本人	4	8%
家族・親族	3	6%
虐待者自身	1	2%
警察	7	14%
医療	0	0%
行政	1	2%
その他	4	8%
合計	49	100%

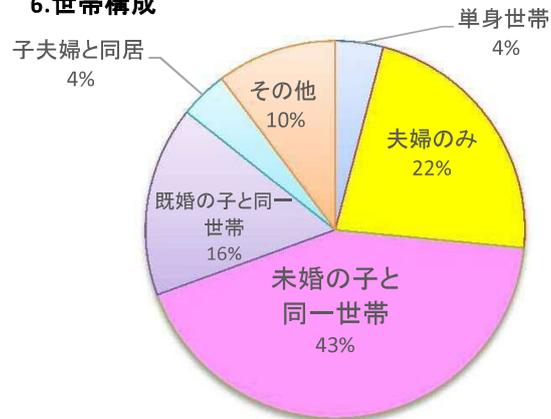
5. 通報者・届出者(件数・重複あり)



6. 世帯構成

	件数	割合
単身世帯	2	4%
夫婦のみ	11	22%
未婚の子と同一世帯	21	43%
既婚の子と同一世帯	8	16%
子夫婦と同居	2	4%
その他	5	10%
合計	49	100%

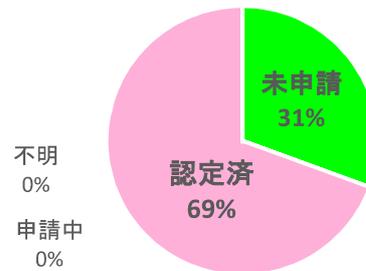
6. 世帯構成



7. 被虐待者の介護保険の申請

	件数	割合
未申請	15	31%
申請中	0	0%
認定済	34	69%
不明	0	0%
合計	49	100%

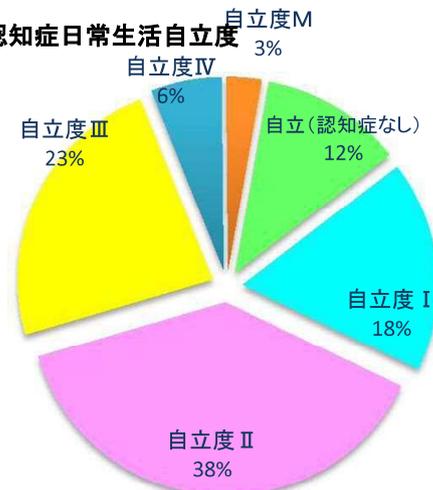
7. 被虐待者の介護保険の申請



8. 認定済み者の認知症日常生活自立度

	件数	割合
自立(認知症なし)	4	12%
自立度Ⅰ	6	18%
自立度Ⅱ	13	38%
自立度Ⅲ	8	24%
自立度Ⅳ	2	6%
自立度M	1	3%
合計	34	100%

8. 認定済み者の認知症日常生活自立度



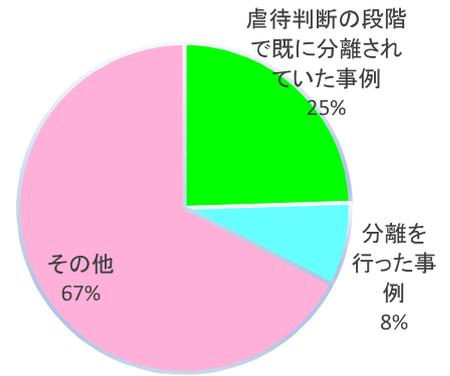
### 9. 対応状況

	件数	割合
虐待判断の段階で既に分離されていた事例	12	24%
分離を行った事例	4	8%
その他	33	67%
合計	49	

#### ※内訳(重複あり)

	件数
養護者に対する助言	14
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	0
新たに介護保険サービスを利用	2
介護保険サービスのケアプランの見直し	13
介護保険サービス以外のサービスを利用	2
経過観察(見守り)	6
その他	5

### 9.対応状況



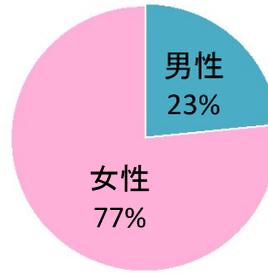
# 平成29年度東京都養護者による高齢者虐待についての対応状況

【参考資料】

## 1.被虐待者の内訳(男女別)

	件数	割合
男性	651	23%
女性	2,128	77%
合計	2,779	100%

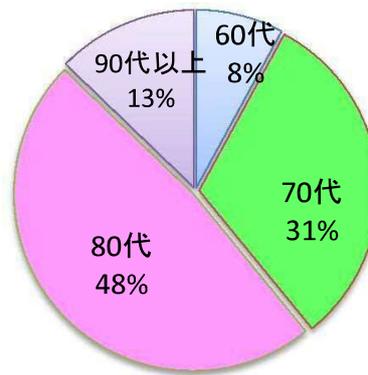
## 1. 被虐待者の内訳(男女別)



## 2.被虐待者の内訳(年齢別)

	件数	割合
60代	219	8%
70代	868	31%
80代	1,336	48%
90代以上	354	13%
不明	2	0.1%
合計	2,779	100%

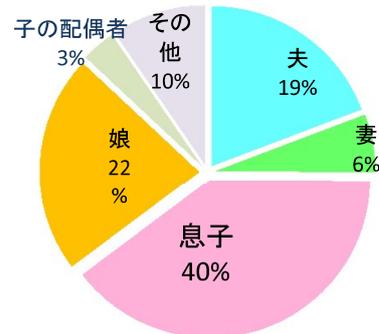
## 2. 被虐待者の内訳(年齢別)



## 3.主たる虐待者(件数・重複あり)

	件数	割合
夫	576	19%
妻	176	6%
息子	1,186	40%
娘	667	22%
子の配偶者	104	3%
その他	286	10%
合計	2,995	100%

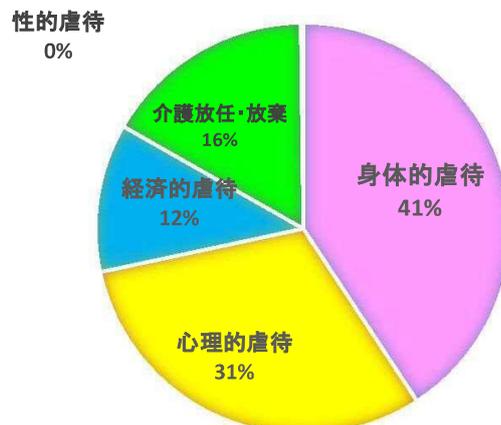
## 3. 主たる虐待者(件数・重複あり)



## 4.虐待の種類(件数・重複あり)

	件数	割合
身体的虐待	1,710	41%
心理的虐待	1,293	31%
経済的虐待	489	12%
介護放任・放棄	693	17%
性的虐待	8	0.2%
合計	4,193	100%

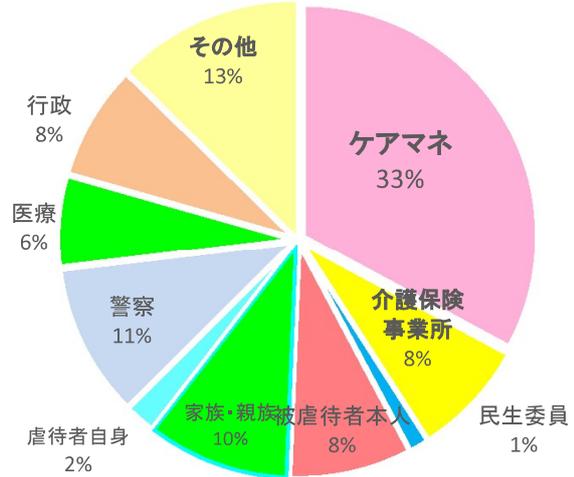
## 4. 虐待の種類(件数・重複あり)



5. 通報・届出者(件数・重複あり)

	件数	割合
ケアマネ	1,250	33%
介護保険事業所	306	8%
民生委員	49	1%
被虐待者本人	319	8%
家族・親族	372	10%
虐待者自身	78	2%
警察	403	11%
医療	240	6%
行政	302	8%
その他	480	13%
合計	3,799	100%

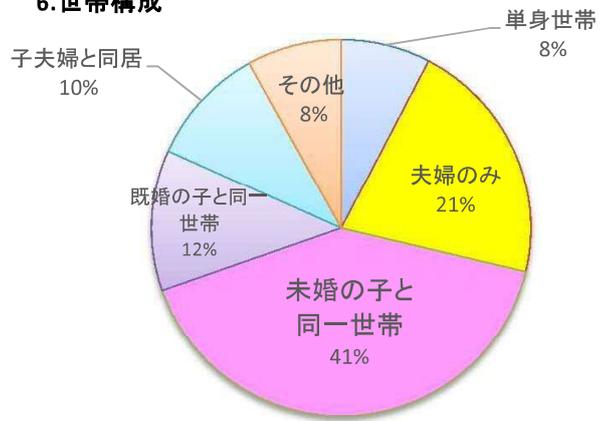
5. 通報者・届出者(件数・重複あり)



6. 世帯構成

	件数	割合
単身世帯	212	8%
夫婦のみ	586	21%
未婚の子と同一世帯	1,137	41%
既婚の子と同一世帯	336	12%
子夫婦と同居	284	10%
その他	224	8%
合計	2,779	100%

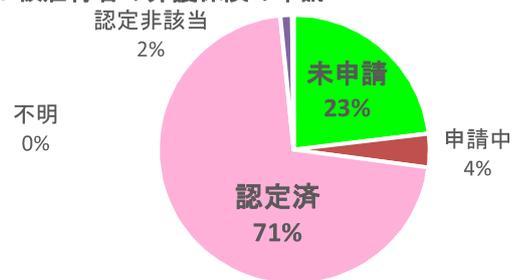
6. 世帯構成



7. 被虐待者の介護保険の申請

	件数	割合
未申請	642	23%
申請中	111	4%
認定済	1,982	71%
認定非該当	39	1%
不明	5	0%
合計	2,779	100%

7. 被虐待者の介護保険の申請



8. 認定済み者の認知症日常生活自立度

	件数	割合
自立(認知症なし)	174	9%
自立度 I	312	16%
自立度 II	656	33%
自立度 III	533	27%
自立度 IV	160	8%
自立度 M	35	2%
自立度不明	112	6%
合計	1,982	100%

8. 認定済み者の認知症日常生活自立度



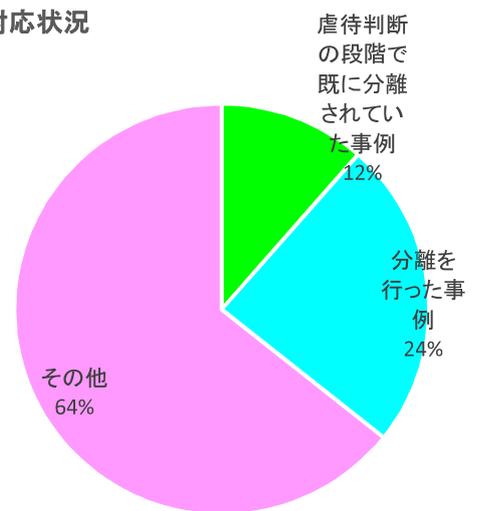
### 9. 対応状況

	件数	割合
虐待判断の段階で既に分離されていた事例	438	11%
分離を行った事例	931	24%
その他	2,463	64%
合計	3,832	

#### ※内訳(重複あり)

	件数
養護者に対する助言	1,087
養護者が介護負担軽減のための事業に参加	60
新たに介護保険サービスを利用	202
介護保険サービスのケアプランの見直し	613
介護保険サービス以外のサービスを利用	107
経過観察(見守り)	445
その他	247

### 9.対応状況



## IV 地域ケア会議・予防プラン等の状況について

### 1.地域ケア会議について(平成30年度)

#### ○ 豊島区の地域ケア会議

地域ケア会議は、「個別課題解決」、「ネットワーク構築」、「地域課題発見」、「地域づくり・資源開発」、「政策形成」など様々な機能を持ち、その機能が作用し合い、循環しながら地域包括ケアを推進していく。高齢者個人に対する支援の充実と、地域包括ケアシステムの体制の整備を同時に進めることができる有効なツールである。

豊島区では、平成30年度から、個別課題解決・自立支援のための「地域ケア個別会議」と地域課題と区の課題に対応する「地域ケア推進会議」に大別し、開催している。それぞれ、包括が主催するものと、高齢者福祉課が主催するものがある。

#### (1)地域ケア個別会議

地域ケア個別会議には、主に支援困難ケースの課題解決を目的とした「個別会議」と、自立支援・介護予防の観点から多職種が関わり行う「自立支援地域ケア会議(元気はつらつ報告会)」がある。

平成30年度包括主催の「個別会議」は153回、「自立支援地域ケア会議」は19回を開催した。高齢者福祉課主催の「自立支援地域ケア会議」は16回を開催した。

#### (2)地域ケア推進会議

地域ケア推進会議には、各高齢者総合相談センターが、各地域の関係者(民生委員・児童委員、町会、商店会、ケアマネジャー、医療関係者、金融機関、警察、消防、CSW等)とともに、「地域ケア個別会議」の中から見つかった地域の課題を共有し、多職種・多機関の連携による包括的な支援や、地域連携、ネットワークづくりを行う、「地区懇談会」と、各地区懇談会で対応策を検討した、地域課題の中から区全体にかかる課題を発見し、対応策を検討する「地域ケア会議全体会議」がある。平成30年度包括主催「地区懇談会」は、63回を開催した。

高齢者福祉課主催の「地域ケア会議全体会議」は1回開催した。

地域ケア会議全体会議で検討した課題は、年度をまたいで「地域の支え合いの仕組みづくり協議会」や「豊島区認知症施策推進会議」、「在宅医療連携推進会議」等、ほかの会議体とも連携し、政策提言へとつなげていく。

令和元年度 地域ケア会議年間スケジュール

会議名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
地域ケア会議関連	地域ケア会議説明会(年1回) 意見交換会 (センター長連絡会でも実施)	8包括へ訪問 ・マニュアルをもとに説明し、地域ケア会議の開催計画と運営方針の共通認識を調べる ・地域ケア会議について意見交換											
	地区懇談会	各包括にて随時開催											
	研修検討会(主任介護支援専門員地域ケア会議)	1~2回開催予定											
	センター長連絡会(全体会議に向けた検討会) 第3火曜日	第1回(5/21)	第2回(6/18)	第3回(7/16)	第4回(8/20)	第5回(9/17)	第6回(10/15)	第7回(11/19)	第8回(12/17)	第9回(1/21)	第10回(2/18)	第11回(3/17)	
地域ケア会議(全体会議)	全体会議												
地域ケア個別会議	個別会議	各包括にて随時開催											
	区主催元気はつらつ報告会(年2回・各包括1事例提出)			第1回(7/18)		第2回(9/19)							評価検討会
	包括主催元気はつらつ報告会(各包括年2事例の検討)	4圏域ごと(2包括合同)に企画・運営											
	生活援助ケアプラン地域ケア会議(随時)	随時											

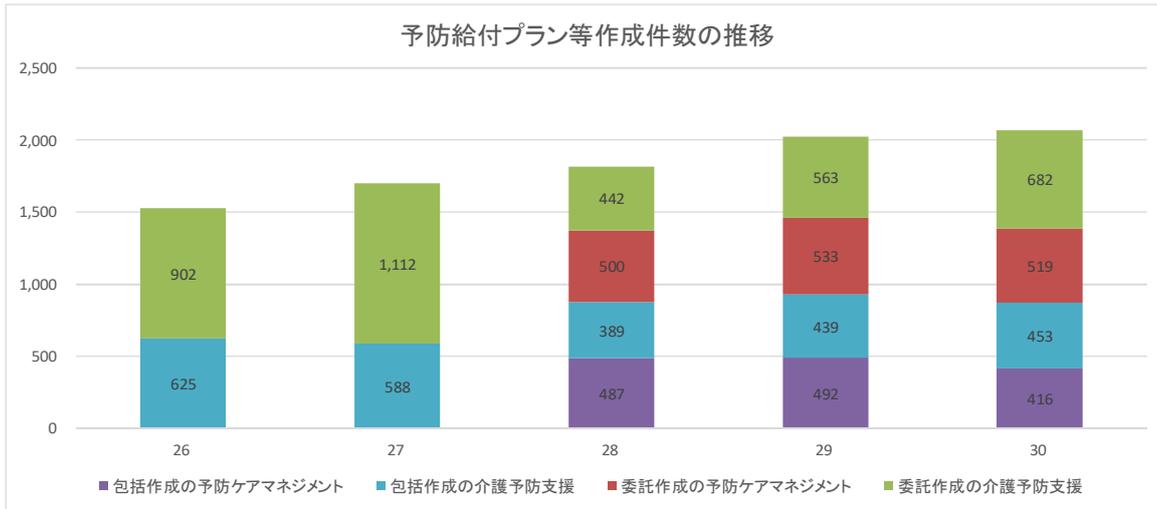
## 2.センター長連絡会

各包括間のよりスムーズな連携、情報の一元化等を目指して部会等のあり方を見直し、平成27年度新たに設定した、各包括のセンター長を招集する会議。毎月1回、原則9:00から1時間30分程度、事務連絡の他、包括全体で打ち合わせを必要とする課題について検討をおこなった連絡事項、課題に応じて必要な担当者にも出席を依頼した。また開催終了から12:00まで、地域ケア会議全体会議の為の検討会を実施した。

回	実施日	内 容
第1回	4月24日	○選択的介護モデル事業実施について ○元気あとおし事業について ○認知症地域支援推進員活動について ○平成30年度米寿訪問について
第2回	5月15日	○在宅医療連携推進会議・がんケアパスについて ○一般施策(補聴器購入費助成)について ○「Ayamu地域介護」について ○地域ケア会議 全体会議の開催に向けて
第3回	6月19日	○サービス計画書等の提出について ○東京都認知症アウトリーチチーム実施要領の改正に伴う変更点について ○地域リハビリテーションについて ○暫定プランについて
第4回	7月17日	○被保護者あんしん支援事業等について ○選択的介護モデル事業実施について ○認知症支援講座について ○在宅医療連携推進会議の報告について
第5回	8月21日	○消費生活センターからのお知らせ ○選択的介護の相談記録について ○豊島区精神障害者支援マニュアルについて ○元気はつらつ報告会について
第6回	9月18日	○介護保険住宅改修申請時における添付書類の追加について(依頼) ○認知症初期集中チームのチーム員連絡会議について ○主任介護支援専門員研修の申込状況について
第7回	10月16日	○身元保証等高齢者サポート事業に関する相談への対応について ○包括主催自立支援型地域ケア会議について ○認知症家族者の会について
第8回	11月20日	○豊島消防署より(防火防災診断に関して) ○在宅医療連携推進会議の報告について ○年未年始対応想定者リストの作成について ○生活援助ケアプラン地域ケア会議について
第9回	12月18日	○介護予防リーダー養成講座について ○豊島区リハビリテーション協議会について ○平成31年度介護予防サロン事業について ○補聴器の医療費控除について
第10回	1月15日	○がんケアパスについて ○平成31年度予算について ○PT参加についての依頼(包括システムPT、災害PT) ○生活支援体制整備事業について ○次年度の通所型サービスについて ○豊島区地域ケア会議運営マニュアル(第2版)について

回	実施日	内 容
第11回	2月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○東池袋フレイル対策センターについて</li> <li>○次年度の通所型サービスについて</li> <li>○次年度の業務委託における単価契約について</li> <li>○地域資源PTについて</li> </ul>
第12回	3月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>○包括支援システムPTについて</li> <li>○豊島区地域ケア会議運営マニュアルの説明会について</li> <li>○紙おむつの支給申請について</li> <li>○平成31年度高齢者福祉課転入者研修について</li> <li>○一般施策説明会について</li> </ul>

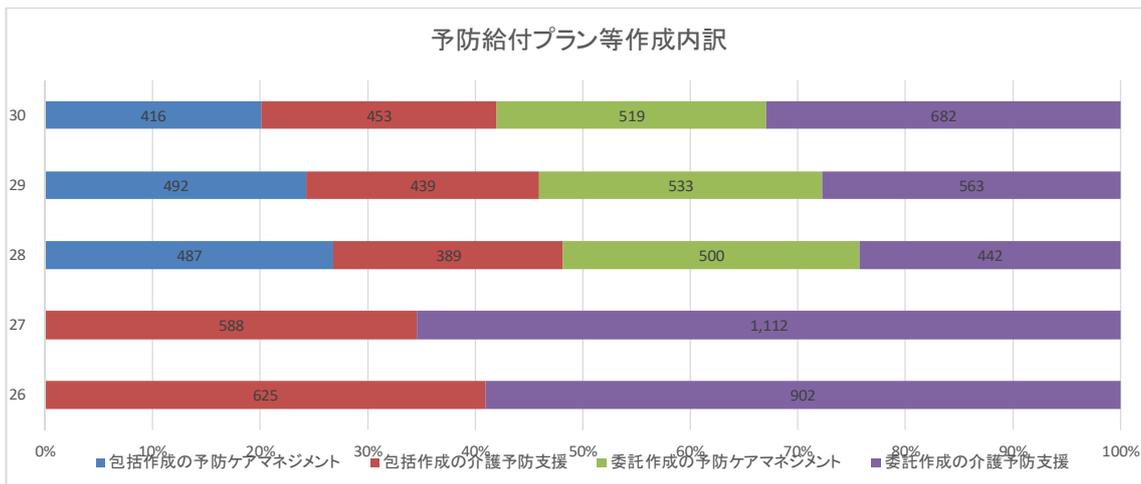
### 3. 予防給付プラン等請求実績について(平成26年度～平成30年度)



平成30年度の豊島区予防給付プラン請求件数は、平成31年3月時点で2,070件である。このうち、地域包括支援センター作成が869件(42.0%)、居宅介護支援事業者に委託しての作成が1,201件(58.0%)である。

平成28年度から総合事業が開始となり、総合事業のみを利用した場合は介護予防ケアマネジメントとなる。また、新規に作成するプランは原則として地域包括支援センターで作成することとなっているが、全体件数の増加に伴い委託の割合が増加している。

また、統計上ではしめされていないが、通常業務に加え、平成30年度の介護保険法改正に伴う契約書及び重要事項説明書等の変更のための連絡調整及び訪問の業務が増加している。



## V 認知症対策について

### 1. 認知症支援事業 実施状況

#### (1)もの忘れ相談(定期相談)

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1
東部	4	0	3	1	0	1	1	2	3	1
中央	3	0	0	3	0	0	2	1	3	0
ふくろうの杜	3	0	0	3	0	0	0	3	1	2
豊島区医師会	2	1	0	1	0	0	0	2	2	0
いけよんの郷	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0
アトリエ村	3	1	2	0	0	0	2	1	3	0
西部	3	1	2	0	0	0	1	2	2	1
合計	21	3	9	9	0	1	8	12	16	5

#### (2)もの忘れ相談(随時対応相談)

地域包括支援センター	相談件数	相談経路			年齢				判断	
		本人	家族	その他	65歳未満	65～74歳	75～84歳	85歳以上	認知症 認知症疑い	その他
菊かおる園	2	1	1	0	0	2	0	0	1	1
東部	8	0	5	3	0	1	4	3	7	1
中央	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0
ふくろうの杜	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
豊島区医師会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
いけよんの郷	2	0	1	1	0	0	0	2	2	0
アトリエ村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
西部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	14	2	7	5	0	3	5	6	11	3

#### (3)認知症介護者支援事業・認知症普及啓発(認知症サポーター養成講座、認知症ライフサポート研修)

地域包括支援センター	認知症 介護者の会	認知症介護者 支援講座	認知症サポーター 養成講座	認知症ライフ サポート研修
菊かおる園		1回		
東部	12回			
中央	12回	1回		
ふくろうの杜	12回			
豊島区医師会	12回	1回		
いけよんの郷				
アトリエ村			1回	
西部	12回	1回		

#### (4)認知症初期集中支援チーム実績

地域包括支援センター	件数
菊かおる園	3
東部	3
中央	4
ふくろうの杜	4
豊島区医師会	3
いけよんの郷	4
アトリエ村	3
西部	4

2. 認知症支援事業について

		差し替え	
事業名	事業内容	29年度実績	30年度実績
もの忘れ相談	地域包括支援センターにおいて、「豊島区認知症かかりつけ医」から医師会が選出した相談医が、もの忘れが懸念される高齢者やその家族の相談に応じる。 27年度より、随時対応相談を事業化し開始(豊島区医師会単独では、26年度より実施)	定期相談 12回17名 随時相談 15回15名	定期相談 14回21名 随時相談 14回14名
高齢者こころの相談	認知症状があり、高齢者本人や家族に病識がなく外来受診につながりにくい場合などに、専門の精神科医が場合によっては訪問し、直接本人や家族と面接することで本人の病状の見立てを行うとともに、今後の関わり方への助言を通して早期治療・支援に対応する。	12回 13件	11回 14件
認知症早期診断・早期対応事業	受診を拒否する認知症の疑いのある区民に対し、地域包括支援センターからの要請で認知症コーディネーターと認知症疾患医療センターアウトリーチチームが訪問し、適切な医療や介護サービスにつなげる支援を行う。	4件	5件
認知症介護者等支援事業 ○認知症パンフレット作成  ○認知症支援事業  ○介護者の会  ○認知症介護者支援事業 ・介護者の会サポーター連絡会 ・介護者の会サポーターフォローアップ講座	認知症に関する基礎知識やサービス・相談先等を掲載したパンフレットを作成し、配布している。  認知症高齢者の介護者が、病気の理解や対応方法、利用できる制度を学ぶとともに、介護者同士の交流によって仲間づくりの機会を提供し、孤立の防止を図る。  認知症高齢者を介護している方が安心して悩みや不安を話す情報交換の場として、介護者サポーターが運営を支え、地域包括支援センターが地域情報を提供している。  ●「介護者の会」の安定かつ継続的な運営の支援を行うため、介護者サポーター同士の情報交換、相談助言のために連絡会を開催。また、充実したボランティア活動が継続できるよう、ボランティアに関する知識や役割を学びスキルアップを図る。  ●「介護者の会」の安定かつ継続的な運営の支援を行うため、認知症高齢者の支援に関心の高い区民を対象にした介護者を支えるための研修を通じ、家族介護者ボランティアを育成する。	6,000部  3回  60回 357人  登録23人 連絡会4回 研修会2回	6,000部  5回  60回 308人  登録23人 連絡会4回 研修会2回
認知症カフェ (平成28年度から認知症カフェ登録事業・運営補助事業開始)	認知症の方やその家族、地域住民、保健福祉医療関係者が立ち寄り、交流や相談の場を提供している。	238回 3,173人	243回 3,962人
認知症講演会 (もの忘れ相談区民公開講座)	認知症の病気の理解、医療や介護、周囲の支援に関することをテーマに講演会を実施している。	1回	1回
徘徊高齢者位置情報サービス	徘徊のある高齢者の所在を、在宅で介護している方が確認できる、位置情報サービスの利用料金の助成をしている。	6人	8人
認知症医療連携強化 (豊島区認知症かかりつけ医)	豊島区医師会では、認知症を診ることのできる医師を増やすために、所定の講習を修了した医師会員を認知症かかりつけ医として登録しており、その名簿を認知症パンフレットに掲載し、周知している。	83人	73人
認知症サポーター養成講座	認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者(認知症サポーター)となるための講座を開催している。区主催講座と、講師が出向く出前方式の講座を実施している。	69回 2,048人	55回 2,111人
普及啓発	①広報 事業の案内や講演会などの記事を掲載している。 ②中央図書館の特集展示 ③ホームページ 認知症の病気の知識や支援事業の案内をしている。	4分の1スペース 1回 8/26～9/21	4分の1スペース 1回 8/24～9/28
地域包括支援センターでの相談	専門知識を持つ社会福祉士・保健師・主任介護支援専門員が、高齢者やその家族からの、福祉サービスや介護保険、介護予防などの相談に応じている。		

## VI 介護予防・日常生活支援総合事業の実施状況

平成28年度より「介護予防・日常生活支援総合事業」（総合事業）が始まり、65歳以上の高齢者であれば心身の状況等によって分け隔てなく、一般介護予防事業対象となった。一般介護予防は、住民主体の通いの場を充実させ、継続的に拡大していくような地域づくりを推進するとともに、生きがいや役割をもって生活できる地域の構築により、介護予防を推進していくことを目的としている。

### 1. 通いの場の充実

#### (1)「介護予防サロン」

事業名	事業概要	実施回数・参加実人数
介護予防サロン事業	地域の閉じこもりがちの高齢者が気軽に参加できるサロンを月1回程度開催。	12か所(165回) 人 内訳 [ 包括 8か所(104回) 1,897人 NPO等 4か所(61回) 643人

#### (2)「自主グループ活動」

朗読や絵本読み聞かせ等の自主グループの他、講師と生徒の関係ではなく、誰でも何処でも住民が自主的に継続してできる「としまる体操」の活用を広げ、自主グループを増やしていく。また、自主グループ化した後は、イベントで発表の機会を設けるなど、更に活動の拡大を図る。

主な活動内容	活動グループ数
としまる体操	82グループ
その他(朗読、絵本読み聞かせ等)	22グループ

### 2. 介護予防の担い手の育成

介護予防活動で自主グループ化を目指す際、率先して地域住民に声かけや活動の取りまとめを行う担い手が必要となるため、「介護予防サポーター」と「介護予防リーダー」の育成を行っている。

事業名	事業概要	登録者数
介護予防サポーター	高齢者が自身の介護予防の理解を深め、活躍の場を広げることを目的とし、シニア世代の互助機能を高める役割を担う人材の育成。	101人
介護予防リーダー	健康寿命延伸のための介護予防推進とシニア世代の役割の創出を目的とし、課題発見型地域づくりを担うリーダーを養成する。平成30年度は、豊島区内の各専門家に講師を依頼し、19人3期生の養成と1,2期生のフォローアップを行った。	19人

### 3. 体験型プログラム等

事業名	事業概要	実施回数・参加実人数
運動プログラム事業	○高齢者マシントレーニング 高齢者用マシンを使用して、筋力、筋持久力、柔軟性を高める。	9クール<30回> 76人
	○筋力アップ教室 転倒しない身体作りを目指して、足、腰、腹部の筋力アップを図る体操。	12クール<72回> 157人
	○高齢者水中トレーニング 水中歩行、水中負荷による体操を行い、運動機能の向上維持を目指す。	6クール<20回> 38人
認知症予防プログラム事業	○シニアのためのウォーキング教室 ウォーキングが脳と身体にもたらす効果について学びながら実践を行い、認知症の予防を目指す。	2クール<8回> 10人
	○絵本読み聞かせ講座 絵本の読み聞かせを行うことで脳を活性化し、認知症予防を目指す。	1クール<2回> 19人
介護予防推進事業	○イベント「介護予防大作戦」	1回 423人
	○おたっしや応援団 出前講座で、体力測定と生活機能質問票により老年症候群を早期に発見する	15回 399人
	○口腔ケア講座 歯科衛生士が唾液の分泌を促すマッサージ等の実践を行い、口腔ケアの向上を目指す。	2回 62人
	○栄養講座 管理栄養士が必要な栄養素等の具体的な講座を行い食生活の改善を目指す。	2回 47人
シニアのための測定会事業	身体・体力測定、認知機能検査(簡易)を実施し、介護予防の取り組みのきっかけづくりとする。	9回 204人
お化粧品による介護予防事業	講座やお化粧品教室を開催し、日常的に化粧品に親しみ幸福感や外出する意欲を高める。	2回 48人
高齢者元気あとし事業	元気あとし会員に登録してボランティア活動をすると、活動時間に見合ったスタンプを押印する。スタンプ数に応じて現金に換金できる。	会員数 493人
食彩いきいきサロン事業	栄養バランスのとれた食事をしながら参加者同士で交流し、低栄養・閉じこもりを予防する。	4クール<24回> 96人

#### 4. 総合事業等

事業名		事業概要	利用件数
基本チェックリスト		25の質問項目で日常生活に必要な生活機能が低下を調べ、該当者は、介護予防・生活支援サービス事業の、サービスの利用につなげる。 対象：65歳以上の区民	実施数 78件 事業該当者 68件
訪問型サービス事業	介護予防訪問事業	ホームヘルパーが自宅に訪問して、利用者が自立した生活を営めるように、生活援助や身体介護する。 対象：要支援1・2	2,041件
	訪問型サービスA事業	ホームヘルパーが自宅に訪問して、利用者が自立した生活を営めるよう、生活援助や簡易な身体介護をする。家事援助のみの場合は、区研修修了者により支援することもできる。 対象：要支援1・2	8,149件
	生活支援お助け隊 (訪問型サービスB事業)	区で実施する研修修了者が自宅に訪問して、掃除等の簡易な家事援助をすることで利用者の自立した生活を支援する。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	27件
	短期集中型サービスC事業	3～6か月の期間で、リハビリテーション専門職等からリハビリテーション、口腔ケア、低栄養改善などのアドバイスを受けて、日常生活機能の向上に取り組む。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	リハビリテーション 49件 口腔ケア 3件 低栄養改善 18件
通所型サービス	介護予防通所事業サービス	デイサービスなどで、介護予防を目的とした運動器の機能向上、栄養改善、口腔機能の向上などの選択的なサービスを日帰りで受けられる。 対象：要支援1・2及び65歳以上の基本チェックリスト該当者	11,878件

# 研修企画委員会用 整理シート

## ※資料1 5ページより

### 【①目標:目指すケアマネ像】

- ・利用者本人の意思決定の手伝いができる
- ・利用者本人の真の思いが引き出せる

### 【③問題:目標とのギャップ】

真のニーズが聞けていない (表面的な事にとらわれすぎ)  
ケアプラン作成に必要な基本的な知識が不足している  
型にはまったケアプランを作成してしまう  
不十分なケアプラン作成について指摘する人がいない

### 【②現状のケアマネ像】

- ・アセスメントしても、整理ができないままケアプラン作成をしている
- ・その人らしいプランができていない  
(「Aさんらしい～」という文章力・表現力がない)

### 【④原因】

- ・必要なことを質問し、思いを引き出し、説明し、納得してもらうためのコミュニケーション力が必要
- ・人間心理/高齢者心理等についての知識が必要
- ・ケアマネジャーとしての専門職の意識や定義が浸透していない
- ・ケアプラン作成への慣れ
- ・ケアプランを客観的に見る機会が少ない
- ・勉強・修得・実践機会がない

### 【⑤対策】

その人らしいプランを作るために、利用者本人の真の思いを引き出せる対人援助技術を学ぶ

- i)なぜCMに対人援助技術が必要か
- ii)対人援助技術とは何か (バイステックの原則、マズローの欲求段階、自己覚知、高齢者心理をふまえて)
- iii)面接技法とは何か、初回のインテーク時と継続アセスメント時の二つの場面の特徴や違いを明らかにし、実習を含む
- iv)真のニーズとは何か (ニーズ論)

(4)平成30年度の研修(高齢者福祉課実施分) ※資料1 6ページより

研修企画委員会にて検討した対策案に基づき研修を実施した。

研修名	開催日時	対象	講師	会場	参加人数	研修内容
真のニーズを引き出すケアマネに求められる対人援助技術研修	平成30年 8月31日(金) 14時00分～ 16時30分	豊島区の居宅 介護支援事業 所に所属する ケアマネ ジャー	日本女子大学人間 社会学部社会福祉 学科 渡部律子氏	IKE・BIZ 6階 多目的ホール	49	利用者理解の基礎～援助的關係とは～ ・援助される側(利用者やその家族)の立場を理解する ・援助する者として、ケアマネが理解を深めるべき自らの仕事への関わり方を認識する ・サポートの効果を理解し、よいサポートの提供の仕方を身につける
	平成30年 9月21日(金) 14時00分～ 16時30分			48	相談援助面接～面接の構造と応答のバリエーションを理解する～ ・面接の構造と面接に必要な言語スキル ・インテーク面接場面を視聴して「何を意図してどのような応答をするのか？」を理解する	
	平成30年 10月5日(金) 14時00分～ 16時30分			49	アセスメント～情報を統合する～ ・アセスメントとは何か？ ・クライアントとの置かれている状況を理解する	
	平成30年 11月2日(金) 14時00分～ 16時30分			47	利用者理解から支援計画作成へ～スーパービジョン要素を取り入れた事例検討会～ ・これまでの研修で学んだことを統合し、利用者・家族・彼らを取り巻く環境を統合的に理解するために必要な問いかけや要約の仕方を学ぶ	
受講人数合計					193	

令和元年度 地域ケア会議 年間スケジュール ※資料1 15ページより

会議名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
地域ケア推進会議	地域ケア会議説明会 (年1回) 意見交換会 (センター長連絡会でも実施)	←→		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ・マニュアルをもとに説明し、地域ケア会議の開催計画と運営方針の共通認識を図る                      ・地域ケア会議について意見交換                 </div>										
	地区懇談会	各包括にて随時開催												
	研修検討会(主任介護支援 専門員地域ケア会議)	1～2回開催予定												
	センター長連絡会 (全体会議に向けた検討会) 第3火曜日	第1回 (5/21)	第2回 (6/18)	第3回 (7/16)	第4回 (8/20)	第5回 (9/17)	第6回 (10/15)	第7回 (11/19)	第8回 (12/17)	第9回 (1/21)	第10回 (2/18)	第11回 (3/17)		
地域ケア会議(全体会議)	全体会議													
地域ケア個別会議	個別会議	各包括にて随時開催												
	区主催元気はつらつ報告会 (年2回・各包括1事例提出)					第1回 (7/18)	第2回 (9/19)							評価 検討会
	包括主催元気はつらつ報告 会 (各包括年2事例の検討)	4圏域ごと(2包括合同)に企画・運営												
	生活援助ケアプラン 地域ケア会議 (随時)	随 時												